第８学年　外国語科　学習構想案

日　時　令和７年７月３日（木）第５校時
場　所　８年教室
指導者　Ｔ１　指導教諭　○○ ○○
　　Ｔ２　教諭　　○○ ○○
　　ＡＬＴ　　○○ ○○

１　単元構想

単元名	Unit 3 What kind of job are you interested in?（東京書籍 New Horizon English Course 2）		
単元の目標	(1)不定詞を用いた文の理解をもとに，何かをする目的や感情の原因，するべきことや大切なことなどについて，情報を整理して書くことができる。〔知識及び技能〕 (2)将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，１０年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書くことができる。〔思考力，判断力，表現力等〕 (3)将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，読み手に配慮しながら，１０年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとする。〔学びに向かう力，人間性等〕		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	「書くこと」（イ） ①不定詞を用いた文の形･意味を理解している。 ②何かをする目的や感情の原因，するべきことや大切なことなどについて，情報を整理して書く技能を身に付けている。	「書くこと」（イ） ①将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，自分が伝えたいことを簡単な語句や文を用いて書いている。	「書くこと」（イ） ①将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，自分が伝えたいことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）

将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，読み手に伝わるよう意識しながら，自分が伝えたいことを書き表そうとしている生徒。

単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，１０年後の自分へのメッセージを書こう。	将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，読み手に伝わるように配慮しながら，自分の言いたいことに最もふさわしい表現を工夫すること。

指導計画と評価計画（１０時間取扱い　本時７／１０）

過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体の評価規準」
一	2	○単元のゴールを知る。 ○動作や行為について，それをする目的を伝え合う。 ○お知らせの内容を読んで理解する。 ○体験したい仕事について伝え合う。	【知･技①②】〈観察・ワークシート〉
二	2	○うれしい・悲しいなどの気持ちとその原因について伝え合う。 ○アナ(Anna)とチェン先生(Ms. Chen)の対話を聞き取る。 ○体験したい仕事について，その理由を伝え合う。	【知･技①②】〈観察・ワークシート〉
三	2	○ＡＬＴにぜひ訪れるべき場所について伝えたり，すべきことについて伝え合ったりする。 ○アナ(Anna)が読んだ絵本の内容を理解し，保育園児に読み聞かせるつもりで音読する。その際，どんなことに心がけて読んだか英語で伝え合う。 ○好きなことや興味のあることについて伝え合う。	【知･技①②】〈観察・ワークシート〉 【思･判･表①】〈観察・ワークシート〉
四	1（本時）／2	○自分の将来像や夢について考えるために大切なことやする必要があることを伝え合う。 ○アナ(Anna)のお礼状の内容を理解し，幼児と接するうえで，重要だと思うことを英語で伝え合う。 ○将来の夢のために取り組んでいることや取り組もうとしていることを伝え合う。	【知･技①②】〈観察・ワークシート〉 【思･判･表①】〈観察・ワークシート〉
五	1	○将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，１０年後の自分へのメッセージを書く。 ○クラスメートが書いたメッセージを読んで，感想を伝え合う。	★【思･判･表①】〈ワークシート〉 将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，自分が伝えたいことを簡単な語句や文を用いて書いている。 ★【態①】〈観察・ワークシート〉 将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理し，自分が伝えたいことを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
六	1	○文法事項の整理とまとめをする。	★【知･技①②】〈単元テスト〉

２　単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容，指導事項等）

中学校学習指導要領外国語編　２ 内容
〔知識及び技能〕
（１）英語の特徴やきまりに関する事項
　エ　文，文構造及び文法事項
　　（イ）文構造　　e　その他　　(b) It + be 動詞 + ～ + to 不定詞
　　（ウ）文法事項　　g　to 不定詞
〔思考力，判断力，表現力等〕
（２）情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項
　ウ　日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理し，英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え，気持ちなどを伝え合うこと。
（３）言語活動及び言語の働きに関する事項
　カ　書くこと
　　（ウ）日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動

教材・題材等の価値

本単元は，アナ(Anna)が職業体験で保育園を訪れ，子どもたちに絵本を読み聞かせたり，先生にお礼の手紙を書いたりする場面が設定されている。単元を貫く問い「Unit Question ： What kind of job are you interested in?」にもあるとおり，自分の将来や夢について考えるきっかけにすることができる。

言語材料として扱うのは，不定詞（副詞的用法，形容詞的用法）と It is … to ～. の文構造である。なお，不定詞の名詞的用法は７年生の Unit 8（旧教科書 Unit 9）で既習なので，適宜関連づけたり，振り返ったりする機会とすることができる。

最終的には，自分の将来像や夢という８年生の進路学習（職場体験）と密接に関連した題材を生かした言語活動を展開することができる。

本単元における系統

言語材料

５年
Unit 7
I want to …

６年
Unit 8
I want to …

→ ７年
Unit 8
不定詞(名詞的用法)

→ ８年
Unit 3
不定詞(副詞的用法，形容詞的用法)
It+be 動詞～+to 不定詞
Unit 5
疑問詞+to 不定詞

→ ９年
Unit 3
It+be 動詞～(for …)+to 不定詞
want+(人など)+to 不定詞

生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■研究の柱①　Ｒ７学力調査分析
・「書くこと」においては，基礎基本（単語の並べかえによる英作文），活用（３文以上の英作文）ともに定着が見られる。

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（不定詞を用いた文･並べかえ）（単位：６人）

調査内容	できる
I **want to help** people in need.	6
We **try to do** our best.	5
We **need to save** energy.	6
What do you **want to eat**?	6
質問に３文以上の英文で答える（不定詞を使った質問）。	３文以上：４人　／　２文：２名

■本単元の学習に関する意識の状況（単位：６人）

調査内容	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
英語の勉強は好きだ。	5	1	0	0
英語の授業で学習している内容はよく分かる。	5	1	0	0
英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役立つ。	4	2	0	0
学習した言葉や表現を使ってみようとしている。	6	0	0	0
英語を用いて，関心のあることや自分の考えを書くことは好きだ。	4	2	0	0

■考察
＜資質・能力に関して＞
　７年生で学習した不定詞（名詞的用法）ついては，定着している生徒が多い。また，「書くこと」については，学習したことを使って英語で表現しようとする生徒が多いが，英語で話したり，書いたりして表現することを苦手としている生徒もいる。新出の言語材料については，十分に慣れ親しませ，自信を持って表現できるようにする必要がある。
＜学びに関して＞
　英語で話したり，既習事項を使って会話を続けようとしたり，興味・関心を持って英語の学習に臨んでいる生徒が多い。自信を持って英語を使うことができるように，ペアやグループでの学び合いを通して，基礎・基本の定着を図りながら，十分に口頭で表現したことを書くことへとつなげ，自信をもって英語で発信する場を設けていく必要がある。

３　指導に当たっての留意点

主体的に学習に取り組み，考えを深める子どもの育成

【柱①　実態分析をもとにした授業改善の視点から】

重点１　自力で情報を取り出す力を育む…課題把握の場面で学び方を身につけさせる授業づくり

○身近な話題として職場体験を取り上げ，これから取り組んでいきたいことなどについて，自分の考えや気持ち，理由などを整理していくことで，自分の将来像や夢などについて考え伝えるという，単元を通した学習課題を把握できるようにする。

○自分の将来の夢や，その実現のための取り組みについての考えを積み上げていくことで，単元のゴールである「『１０年後の自分へのメッセージ』を書く」活動で，自分が伝えたいことを表現するための語句や表現を身に付けることができるようにする。

重点２「まとめ」で自分の学びを確認する…「学んだこと」を自分の言葉で明らかにする授業づくり

○ノートやワークシートにまとめるだけでなく，振り返りや学んだ表現を使った英文（自己表現）を書くようにし，互いに紹介し合うことで、他者の学びから自分の学びを深めることができるようにする。

【個人テーマ：主体的に学びに向かい「分かった」「できた」が生まれる英語の授業づくり～知識・技能の確実な習得による表現力の育成を目指して～　の視点から】

○帯活動では，既習の表現での Question や Small Talk を中心に行い，相手を交代するなど工夫して，繰り返し学習ができるようする。

○ペア，グループ，全体など，学習形態を工夫したり，相手を交代してやり取りをしたりするなどのスモールステップを踏ませ，意欲や自信をもって活動することができるようにする。

○言語活動を行う際には，中間指導を充実することで良い面や課題を意識させ，学習内容の定着を図りながら，単元のゴールを目指す。

【人権が尊重される授業づくりの視点から】

※「ぶ」１人学びの場面では，学習形態の工夫や机間支援を通して，一人一人の学力の充実を図る。

※「や」伝え合う場面では，互いに教え合い，学び合うことで，認め合い，励まし合う支持的風土のある集団づくりに努める。

４　本時の学習

（１）目標　自分の将来像や夢について考えるために，大切なことやする必要があることについて，メッセージを書くことができる。

（２）展開

過程	時間	学習活動 （◇予想される生徒の発言）	指導上の留意事項 （学習活動の目的・意図，内容，方法等）
う 導入	10分	１ Warm-up ① Greeting ③ Self-Introduction ② Small Talk ２ めあての確認 ①ＪＴＥとＡＬＴの対話を通して，本時のめあてを確認する。 **【めあて】** 自分の将来像や夢について考え，大切なことやする必要があることについてメッセージを書こう。	○「新KUMAMOTO English Standard」を参考に，ペアで自己紹介をしたり，相手に質問をしたりする。 ○JTEとALTの対話を聞き，本時のトピックに関してペアで対話する。 ○Small Talkで話した内容を英文で書く。 ○「単元のゴール」となる姿をわかりやすくイメージさせるために，ＡＬＴとやり取りを行い，生徒の理解度を見ながら本時のめあてに導く。 （ＡＬＴ：わかりやすく，やり取りを行う。） ○自分の将来について考えたときに，大切なことや必要なことについて，どのような表現を用いて紹介するかイメージできるようにすることで学習意欲を高められるようにする。 （ＡＬＴ：ＡＬＴ自身が大切だと思っていることやする必要があると考えていることについて紹介し，本時の学習活動への期待を示す。）
ぶ や 展開	30分	３ Activity 1 ①基本文の確認 ②Pattern Practice ③ペアで伝え合う。 It is … to ～. Is it … to ～? ― Yes, it is.　/　No, it's not. ４ Activity 2 ①自分の将来像や夢について考え、大切なことやする必要があることについて伝える。 ②大切なことやする必要があることについて，10年後の自分へのメッセージを書く。 ◇It is important to … ◇It is necessary to … ◇It is important to …, but it is difficult to … . So I'll study English every day. ◇It is necessary to …, so I'll practice ～ hard. **【期待される学びの姿】** 将来像や夢などについて考え伝えるために，大切なことやする必要があることについて、自分が伝えたいことを書き表している。	○基本文を十分練習した後、ペアで伝え合いながら，“It is … to ～”の文をスムーズに発話できるようにする。 （Ｔ２，ＡＬＴ：ヒントを与えたり，助言したりする。） ○ペアで伝え合い，考える時間を設け，課題を解決していく。伝えたいがなかなか伝えられなかったことなどの困難に対しても，どうすれば伝わるか臨機応変に粘り強く取り組めるようにする。 （Ｔ２，ＡＬＴ：ヒントを与えたり，助言したりする。） **（言語活動の設定及び設定の意図）** ○自分が伝えたいことが伝わるように意識することで，どの表現を使うのがふさわしいか考えられるようにする。 **【具体の評価規準】「書くこと」（ウ）** **【知･技①②】（方法：観察・ﾜｰｸｼｰﾄ）** 不定詞を用いた文の形･意味を理解し，大切なことやする必要があることなどについて書く技能を身に付けている 【到達していない生徒への手立て】 ○机間支援を行い，助言する。 ○板書事項で基本文（It is ○○ to …）を確認させ，活動を支援する。
ま 終末	10分	５　学習のまとめと振り返り，次時の確認 **【まとめ】大切なことやする必要があることについて伝えるときは，It is ○○ to …を使う。** ①目標の達成状況を振り返り，次の課題を明確にする。 ◇自分の夢のために大切なことをメッセージに書くことができた。 ◇自分の将来のことや，そのために何をすることが必要なのか考えることができた。	○自分の将来像や夢などについて伝えるために，学習した表現をうまく使って伝えることができたか，振り返る時間を設定する。 ○指導者から，活動に対する気付きを述べる。 ○次時に向けての確認をする。

【板書計画】

Unit 3 What kind of job are you interested in?

Thursday, July 3 （weather）

Unit Goal：自分の将来像や夢などについて考え伝えるために，これから取り組んでいきたいことなどについて，10年後の自分へのメッセージを書こう。

Today's Goal：自分の将来像や夢について考え，大切なことやする必要があることについてメッセージを書こう。

important　necessary

easy　difficult　fun　interesting　exciting

※picture card で

Today's Point

It is important to …

It is necessary to …

まとめ：大切なことやする必要があることについて、伝えるときは，It is ○○ to … を使う。

↑　↑

important　to+動詞の原形

necessary

【ＩＣＴ活用計画】

教師による教材提示，学習の振り返り，定着状況の把握への活用
（１）【導入】本時のめあてに導くＪＴＥとＡＬＴの対話で，状況・場面を把握するために，写真やイラストを用いたスライドを電子黒板に提示する。 （２）【展開】１０年後の自分へのメッセージを書く。

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

単元の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む
（１）県学力調査の過去問 ・Ｒ６年度　6（１）②，9（４） ・Ｒ５年度　9（１）